

	一般的名称	報告の概要
564	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	経口避妊薬の使用により、浸潤性子宮頸癌のリスクは使用期間とともに増加することが示唆された。
565	リン酸オセルタミビル	ブタ腎臓上皮由来細胞およびヒトMDR1導入由来細胞、ヒト結腸癌由来細胞を用いた研究において、タミフルがMDR1の機能を阻害して脳に何らかの影響を与えている可能性が示唆された。
566	レボホリナートカルシウム	70歳以上の結腸直腸癌患者175例を対象として、術後補助化学療法群95例と緩和的ファーストライン化学療法群80例への質問票による調査において、後群で1例が死亡した。
567	ジゴキシン	うつ血性心不全のみられない心房細動患者へのジゴキシンの長期投与は死亡リスクを高めることが示唆された。
568	リン酸ベタメタゾンナトリウム	出生前コルチコステロイド反復投与が行われた小児において、脳性麻痺が6例で見られた。
569	硫酸マグネシウム	硫酸マグネシウムを投与された母親から出生した超早産児において、動脈管閉鎖日齢が遅れる傾向が見られた。
570	ホリナートカルシウム	フルオロウラシルまたはカペシタビンをベースとした化学療法を受けたがん患者644例を対象としたプロスペクティブ研究において、伝導異常がみられた1例が死亡した。
571	非ピリン系感冒剤(2)	妊娠後期のアセトアミノフェンの摂取により、出生児の喘息、喘鳴の有病率が高まることが示唆された。
572	ジアゼパム	海外健康人12名において、ポリコナゾール又はフルコナゾール投与中のジアゼパムの反復投与により、ジアゼパムのAUCが増加することが示唆された。
573	リスペリドン	認知症の診断後に抗精神病薬を投与された患者は、抗精神病薬でない薬剤を投与された患者に比べ、死亡率が高まることが示唆された。
574	ジクロフェナクナトリウム	急性腰痛患者にジクロフェナクを投与したところ、胃腸障害、浮動性めまい、動悸などがみられ、1名で過敏症反応があらわれた。
575	ラベプラゾールナトリウム	プロトンポンプ阻害剤の使用により、Clostridium difficile大腸炎の再発リスクが増加することが示唆された。
576	メトレキサート	軟髄膜播種を伴う悪性脳腫瘍を有する10歳未満の小児40例を対象とした高用量メトレキサートを用いた強化療法の臨床試験において、2例が死亡した。
577	メトレキサート	第IV期ヒト免疫不全ウィルス関連バーキットリンパ腫患者63例を対象としてLMB86レジメンを検討したプロスペクティブ研究において、7例が死亡した。
578	アセトアミノフェン	妊娠後期のアセトアミノフェンの摂取により、出生児の喘息、喘鳴の有病率が高まることが示唆された。
579	プレドニゾロン	関節リウマチの患者に疾患修飾性抗リウマチ薬(DMERDs)を投与すると、肺血症性関節炎の発症率が高まることが示唆された。